NPの法人 子育で応援 おおきな水



熊本地震を経験して 2018.10.6 理事長 木村 由美子

目次

- ・ NPO法人 子育て応援おおきな木の紹介
- ・益城町の概要と熊本地震の被害状況
- ・ 熊本地震直後の活動
- ・熊本地震後の自主事業
- ・今後に向けて

NPO法人 子育て応援おおきな木

- ・地域の住民に対して、子育てに関する事業を行い、子どもたちの成長と 地域住民の交流の機会の提供に寄与することを目的に平成23年 NPO法人を 設立。同年、つどいの広場とファミリー・サポート・センター事業を受託。
- ・3つの委託事業と自主事業を行う



つどいの広場 (とんとん)

子ども同士、 親同士の交流の場 ファミリー・サポート・ センター事業

有償ボランティアで子どもを預かる

地域支え合い

仮設団地巡回 $H28,10 \sim H30,3$

自主事業

- ・"お母さんと子どもが元気になれば地域が 活性化する"をモットーに不定期に イベントを開催
- ・震災後は小学生を対象とした子ども あそび場を開催

益城町の概要

- ・熊本県のほぼ中央からやや北寄り、熊本市東部に隣接
- ・「阿蘇くまもと空港」や「益城熊本空港インターチェンジ」などの交通 拠点が所在し、田園と都市が調和する町として発展
- ・人口34,499人(13,455世帯) (平成28年3月時点)



【人口・世帯数(平成30年6月時点)】

人口	32,947人	
世帯数	13,118世帯	
男	15,889人	
女	17,058人	

【主な公共施設】

- ・小学校5校、中学校2校
- ・総合体育館
- ・保健福祉センター
- ・交流情報センター
- ・男女共同参画センター
- ・文化会館

等

【前震】(震度7)

発生日時:平成28年4月14日(木)

21時26分頃

規 模:マグニチュード6.5

【本震】(震度7)

発生日時:平成28年4月16日(土)

1時25分頃

規 模:マグニチュード7.3

【余震の状況】

震度6強…2回 震度6弱…3回

震度 5 強…5回 震度 5弱…12回

震度4以上の地震回数…141回

震度1以上の地震回数…4,309回

(平成28年4月14日~平成29年5月2日現在)

地震の概要



町作成資料 (震度7×2の激震) より引用 木村資料 5

【人的被害】 (単位:人)

直接死	20名	
震災関連死	21名	
重傷	134名	
(川20 1 12吐上)		

(H30.1.12時点)

【住家被害】 (単位:棟)

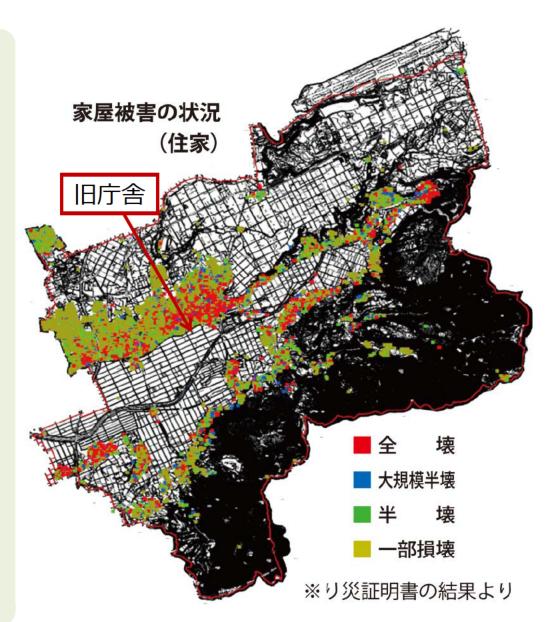
全壊	3,026棟	
大規模半壊·半壊	3,233棟	
一部損壊	4,325棟	
計	10,584棟	
(H30.1.12時占)		

(川つひ・エ・エと时紀)

【最大避難者数(4/17朝)】

10避難所	16,050人
-------	---------

※H28.10末閉鎖



益城町文化会館付近の被災状況(同一場所から撮影)



4月15日(前震後)



5月13日(本震後)



下町地区



寺迫地区



宮園地区 町作成資料 (震度7×2の激震) より引用 木村資料 8

県道熊本高森線の被災状況(同一場所から撮影)

地震前

地震直後





災害時に沿道家屋等が道路を塞ぎ、救助活動や物資運搬に支障あり。



災害に強い幹線道路の整備が課題。

役場庁舎・議会棟の被害状況

役場玄関入口



議会棟本会議場



役場庁舎が被災し使用不可能になり、行政機能が停止。

災害対策本部を別の場所に移動。



避難所となった益城町総合体育館



総合体育館の内部 H28.4.28撮影

急遽修理をして 避難所となりました

	とんとん	ファミサポ	自主事業	地域支えあいセンター事業	備考
4 月		・4/14 熊本地	湿余震・・4/16 熊本地窟・スタッフ安否確認	震本震	↑木村
5 月	・スタッフは交代でキッズ ルームでボランティア・町外団体からのキッズ ルームの引継ぎを検討・イベント計画	休止	↑ 小学生子どもあそび場の √プログラムを作成		↓ 車中泊 →
6 月 7 月	↑ 総合体育館の トレーニングルームで 広場開所 √	た 定期依頼会員の 方を対象に活動	毎週 日曜日に 子こどもあそび場を開所		
8月		・ ・全会員電話にて (約500名)の			
9月	プレハブで 広場開所	安否確認		・益城町より事業委託・各仮設団地の自治会長と調・プログラム作成・仮設入居者支援研修・スタッフ(看護師、保育士) 増員	
10月		・住所決定後 活動可否を はがきで調査		↑ 仮設巡回 -	大村資料

とんとん

4月

5 月

・スタッフは交代でキッズ ルームでボランティア

・町外団体からのキッズ ルームの引継ぎを検討

トレーニングルームで

イベント計画

広場開所

総合体育館の

(もとの拠点は

災害ごみ置き場に)

6 月

7 月

8月

9 月

10 月

プレハブで 広場開所



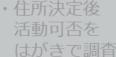














<課題>

・避難所では安心して遊べる場が必要 →早急にとんとんを再開





とんとん

4月

5 月 ・スタッフは交代でキッズ ルームでボランティア

・町外団体からのキッズ ルームの引継ぎを検討

イベント計画

6 月

7 月

8 月 総合体育館の

トレーニングルームで

広場開所

↓ (もとの拠点は

災害ごみ置き場に)

9 月

10

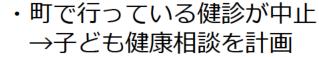
プレハブで 広場開所





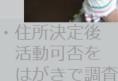


<課題>



- ・子どもが怖くて母親から離れない
 - →通常託児有りの講座を親子で 参加できる内容に変更









仮設巡回

	とんとん	ファミサポ	自主事業		
4 月		・4/14 熊本地	震余震・4/16 熊本地震・スタッフ安否確認	要本震	↑木村
5 月	スタッフは交代でキッズ ルームでボランティア町外団体からのキッズ ルームの引継ぎを検討イベント計画	↑ 休止	↑ 小学生子どもあそび場の ↓プログラムを作成		車中泊 ✓
6 月 7月	↑ 総合体育館の トレーニングルームで 広場開所	↑ 定期依頼会員の 方を対象に活動	◆ 毎週日曜に 子こどもあそび場を開所		
8月		・全会員に電話にて (約500名)の	-		
9月	プレハブで広場開所	安否確認 ・住所決定後 活動可否を はがきで調査		・益城町より事業委託・各仮設団地の自治会長と調・プログラム作成・仮設入居者支援研修・スタッフ(看護師、保育士) 増員	
10 月					木村資料 15

とんとん

こなとこれることになれてる

の場は我り、種からい

一日をあるかで、年のでかってきる。 で日をあるかで、年の後が深まる。 の誰れがいることの行いでは一番で

苦るじゃないときの苦角の気が

と当時から北への不幸の降をき

の対災教育に利対政できる

370 FUE

ファミサポ

休止

自主事業

|備考

4月

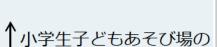
5 月

6月 7月 8月

9 月

10 月 · 4/14 熊本地震余震

•4/16 熊本地震



プログラムを作成

毎週日曜に

子こどもあそび場を開所







- ・小学生は遊ぶ場所がなく、避難所の中をうろついていた (キッズルームは乳幼児、屋外のあそび場は中高生が占領)
- →小学生を対象とした場を提供
- ・携帯型のゲームばかりで遊んでいた
- →遊び場にゲーム機を持ち込まないルールを設け、 人と関わって遊ぶことを意識



・4/14 熊本地震余震 **4**月 3つの年に歴 二度とこいるといるけるい 5 月 休止 2. あなまのをはなれなかいろ の目もあったと「気に成か深まる」 の語かがいることの気に変に大宝もの 6 月 芸養いないときの苦魚の気だ 7 月 るないだけの「林鏡はストレスをあっす 。石桥林代李成"吴军"高" 七部新加强人内不安阳接近年 8 月 2016/07 9 月 10 月

自主事業

· 4/16 熊本地震

・スタッフ安否確認

↑ 小学生子どもあそび場の ↓ プログラムを作成

毎週日曜に 子こどもあそび場を開所







木村資料 17

二度といるといるけるい

の場は我に移かるいて

あるこのをはったまかりいくる の日えるなかで、中心でかったまる。 の書かがいることの中心を一下宝もの

普通的玩艺的普通的玩

。 **太庙传祷。**"晏军"高"

2016/1

るまでは大川大川大阪できる

3つの年心底

休止

自主事業

4月

5 月

6 月 7 月 8月

9 月

10 月

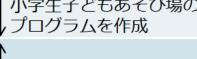
· 4/14 熊本地震余震

・4/16 熊本地震

・スタッフ安否確認

↑ 小学生子どもあそび場の ↓ プログラムを作成

毎週日曜に 子こどもあそび場を開所



<課題>

- ・二次被害を避けるため
- →遊び場の前に必ずスタッフの研修を実施













熊本地震後の自主事業

- ・子どものトラウマ反応が気になり、心のケアと一体となった 防災イベントを実施
- ・今後の活動の見通しを立てるために先進地を視察

く防災イベント>

- 2017.3 防災イベント
- 2017.7 ひとりじゃないよ 益城っ子 第一弾
- 2017.8 ひとりじゃないよ 益城っ子 第二弾

く先進地視察>

- 2017.6 東北視察(仙台市、名取市、石巻市)
- 2017.9 神戸、東京視察

・アニバーサリー反応を意識し、心のケアと一体化した防災教育を実施



●パネルを使って投てき水パックで消火訓練



●ハイゼックス袋で蒸しパンづくり

・楽しみながら防災について学ぶイベントを実施





■氷柱(陣太鼓)



■絵本の読み聞かせ



■ソーラークッカー



■投てき水パックで消火訓練

・震災後初の有料イベント(兼子氏のアドバイスでお土産つき)を計画





■ペットボトルピザ製作

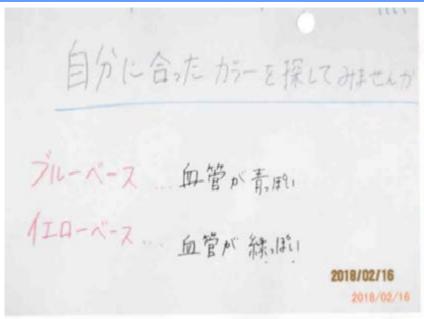






■ボッチャ

木村資料 24









THE BODY SHOPによる ナチュラルメイク レッスン

- ・今後の当NPO法人の見通しを立てるために先進地を視察(兼子さん同行)
- ・子育て中の母親が復興に向けて無理なく就業することの重要性を痛感



■のびすく泉中央



■石巻復興支援ネットワークやっぺす



■子どもセンターらいつ



■にじいろクレヨン



■かぎかっこ

今後に向けて

- ・子育て中の母親が復興に向け、就労訓練になるような場を提供したい
- ・地元食材を使った幼児向けお弁当作りを計画(上益城JAと協力)



JAの調理場での製造や 直売所での販売を予定

将来的には…

母親たちが中心としたチームを作り、商品の構想、企画、開発、製造、 販売までを母親のアイデアを生かしながら進めていきたい

NPO法人 子育で応援 おおきな水